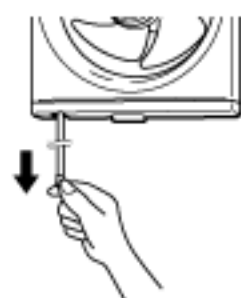


操作のしかた

操作のしかたは、換気扇により異なります。お求めの形名がどの方式かを6ページの仕様で調べて、次の表から製品にあった使いかたをしてください。

シャッターの方式	操作のしかた	1回目	2回目	3回目
連動式（排気）	引きひもで操作する	排気	停止	—
連動式（排気・強弱）	引きひもで操作する	排気 強	排気 弱	停止
連動式（吸気・排気）	引きひもで操作する	排気	吸気	停止
風圧式・電気式（排気）	壁スイッチで操作する	—	—	—



お願い

引きひもはゆっくりとまっすぐ下に引いてください。急に強く引くとスイッチ故障の原因になります。

お手入れのしかた（一般形換気扇）

※形名により図が一部異なります。

■お手入れの準備

- まず、差込みプラグを抜いてください。



内部コンセントをご使用の場合はブレーカなどの電源を切ってください。

- ゴム手袋を着用してください。本体やシャッター端面には十分に注意してください。



- お手入れは台所用中性洗剤をご使用ください。



羽根と化粧枠、オイルパックをはずします

- 1 羽根をはずします。



- ① ボタンを押しながら、
- ② 手前に引きます。

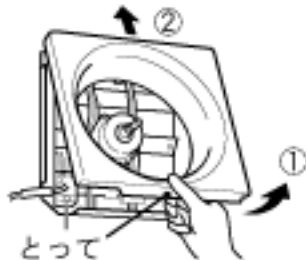
- 2 オイルパックをはずします。



①手掛け

- ①手掛けに指を掛け、②上に持ち上げながら、③手前に引きます。
- 油のこぼれに注意してください。

- 3 化粧枠をはずします。



- ①とつてに指を掛けて手前に引き、②上に持ち上げながらはずします。

■羽根と化粧枠、オイルパックのお手入れ（3ヶ月に1回）

- 1 台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃くらい）に浸します。



- 2 布ややわらかいスポンジでよごれを落とし水で洗い流します。

- 3 水気を布でふきとります。

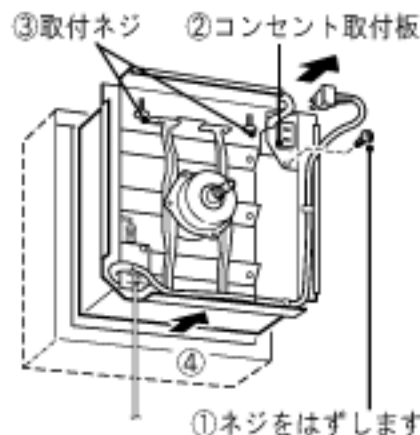
- 4 羽根軸穴は十分に乾燥させ、モーター軸にマシン油などをさしてから取り付けてください。

お願い

モーター軸がさびますと、取り付けが不完全となり、羽根が落下する恐れがあります。

本体を木枠からはずします

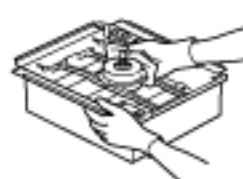
- 内部コンセントの場合は、①ネジをはずし、②本体からコンセント取付板をはずします。③取付ネジ（2カ所）をゆるめ、④手前に引きだします。



- 外部コンセントの場合は、③取付ネジをゆるめ、④手前に引き出します。

■本体のお手入れ（6ヶ月に1回）

台所用中性洗剤を浸した布でよごれをふき取った後、乾いた布で洗剤をふき取ってください。



お願い

- 本体には水をかけないでください。故障の原因となります。
- 引きひもがよごれたり、きずなどができたら、東芝の引きひも（サービスコードNo.41170162）をご購入ください。

お手入れのしかた (つづき)

お手入れ後の組立

はずした逆の順序で行ってください。

羽根取付時のお願い

「カチッ」と音がしないと、運転中に羽根が落下するおそれがあります。



ボタンを押さずに「カチッ」と音がするまで押し込みます。

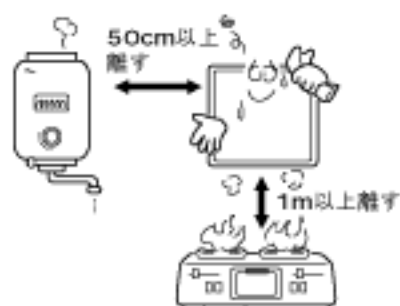
取付後の点検

- 羽根、化粧枠の取付は確実か。
- シャッターが正常に動作するか。
- 異常な振動や騒音がないか。

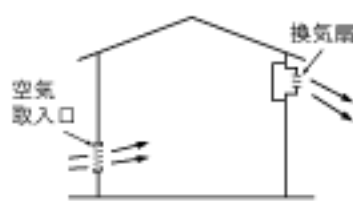
取り付けかた

つぎのことをお守りください

- 高温（周囲温度40℃以上）になる場所、腐蝕性ガスの発生する場所に取り付けしないでください。プラスチック部品が変形したり絶縁が悪くなり感電することがあります。



- よごれた空気を排出するには、新鮮な空気が必要です。窓を少しあけるか、木枠と同じ寸法以上の空気取入口を設けます。



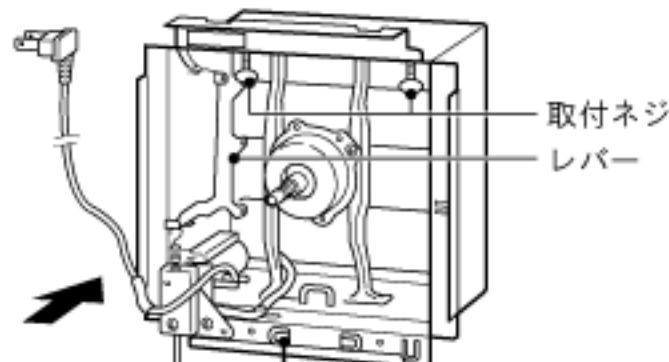
- フード内のような温度が高くなる場所には取り付けしないでください。（不燃形を使用してください）火災・落下によりけがをする恐れがあります。



羽根、化粧枠を“お手入れのしかた”（4ページ）の手順で取りはずします。

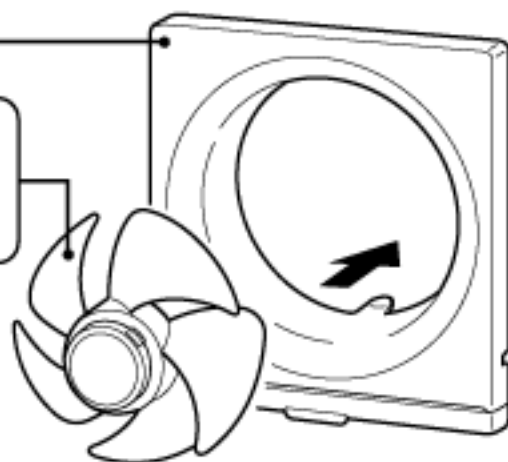
- 汚れやけがの防止のためゴム手袋をしてください。

1 本体の取付け 取付ネジ（2カ所）でしめ、固定します。



2 化粧枠をはめ込みます

3 羽根をはめ込みます ボタンを押さずにカチッと音がするまで押し込みます。



※電源コードを右側に出すとき



スイッチの上からコードを引きまわします。

お願い

- シャッターに貼ってあるテープ（白）をはがしてください。（風圧式）
- 本体を持つときは、レバー部を持たないでください。
- シャッターは閉じておいてください。開いたまま床などへ置くとレバーが変形し、スイッチが入らなくなることがあります。